

教科(科目)	芸術 (書道 I)	単位数	2単位	学年(コース)	1年次
使用教科書	光村図書 I				
副教材等	なし				

1 学習目標

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り書の伝統に基づき効果的に表現するための基礎的な技能を身につけさせるようにする。
- (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉え足りることができるようにする。
- (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う

2 指導の重点

- ・書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化に幅広く関わる資質・能力の育成を目指します。
- ・毛筆、硬筆書写検定の合格を目指します。

3 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
背景となる文化の鑑賞や関わりを通して、各分野で意図に基づく表現にしようとしている。 漢字の書・仮名の書、漢字仮名交じりの書、篆刻において線質、運筆、書風の関わりに基づいた表現にしようとしている。	書を構成する要素を知りそれを生かしながら構想し、工夫する表現にしている。 臨書、創作等を意図に応じた作品にできるようにしている。	生徒の特性等を生かし、書を愛好し、感性を高め心豊かな情操を養うようにしている。 美の多様性を知り、古典を通して主体的に考えて取り組もうとしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点をふまえ、 ・提出物の内容確認 ・書写技能検定取得の取り組み などから評価します。	以上の観点をふまえ ・古典の臨書 ・創作 (共同作品含む) ・書表現取り組みの観察等 から評価します。	以上の観点をふまえ ・授業中の取り組みの観察 ・提出物の内容確認 から評価します。
	各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

5 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と評価方法
4	用具・用材 行書の基本	ビデオ	・文房四宝の知識 ・書写し自己評価する	3 3	提出作品 授業態度 等 b
5	行 書	図版	古典の臨書	6	提出作品 授業態度 等 a
6	行書の創作		グループでの共同作品 チームワークで作る	6	提出作品 授業態度 等 c
7	楷 書	図版	人と書いた時代、書風の違いを学習する	12	提出作品 授業態度 等 a
9	楷 書				
10	漢字・仮名交 じりの書 創 作	ワークシート	作品の構成等表現の工夫をする	8	提出作品 授業態度 等 c
11	仮 名	テキスト	古典の臨書、姿勢・執筆について	8	提出作品 授業態度 等 a
12	書写検定	過去問プリント	各問いの要点を知り、練習する	14	提出作品 授業態度 等 a
1			合格ラインに届く書写		
2	写 経	テープ	読めるようにする 小楷の基本	6	提出作品 授業態度 等 b
3	実 用 書	プリント	役立つ書式	2	提出作品 授業態度 等 c
	水 墨 画	プリント	墨の濃淡・筆の扱い	2	提出作品 授業態度 等 c

計 70 時間 (50 分授業)

6 課題・提出物等

それぞれの学習ごとに作品提出を求めます。

7 担当者からの一言

「書1」では美に対する感性を高め、生涯にわたって芸術を愛好する心を養っていきます。一人一人の特質を生かして学習していきましょう。

(担当：佐藤)